

## 株式会社ワールド 国内小売事業 月次売上概況

会社名 株式会社ワールド  
 代表者名 代表取締役 社長執行役員 鈴木 信輝  
 (コード番号:3612 東証第一部)  
 問合せ先 副社長執行役員 中林 恵一  
 (電話番号:IR室 03-6887-1300)

2022年3月期 (2021/4/1~2022/3/31)		上期							下期			通期			
		4月 Apr.	5月 May	6月 Jun.	7月 Jul.	8月 Aug.	9月 Sep.	10月 Oct.	11月 Nov.	12月 Dec.	1月 Jan.	2月 Feb.	3月 Mar.	2H	Full Term
売上前年比		伸び率(%)													
国内小売売上	※1	261.8	143.9	77.6	87.8	72.4	※5 76.5	98.1	85.1					85.1	97.9
店舗売上	※2	399.1	169.8	75.9	88.8	70.7	※5 72.7	100.5	84.3					84.3	100.4
既存店売上	※3	433.7	182.9	80.0	94.4	76.2	84.1	107.5	98.9					98.9	107.4
Eコマース売上	※4	99.4	94.6	86.1	83.7	79.8	※5 96.1	89.5	89.4					89.4	89.5
店舗数		店													
月末(期末)小売店舗数	※2	2,169	2,160	2,146	2,067	1,831	1,820	—	1,819					—	—
出店		19	2	2	1	4	9	37	8					8	45
退店		5	11	16	80	240	20	372	9					9	381
M&A		0	0	0	0	0	0	0	0					0	0
既存店対象店舗数	※3	1,930	1,930	1,925	1,852	1,610	※5 1,592	—	1,606					—	—

注) 当資料は、原則として、翌月の第3営業日を目処に開示しており、速報値を含んでおります。このため、確定値が速報値と異なる場合、翌月の速報発表時に修正してお知らせいたします。  
 また、通期の列においては、当期の期初から当月までの累計値を記載しております。

※1 売上数値は国内小売売上のみ限定されており、国内の卸売上や催事売上、海外売上などを含んでおりません。

※2 店舗売上及び店舗数には、直営店とVSPA(バーチャルSPA)を含んでおり、FC(フランチャイズ)や海外店を含んでおりません。

※3 既存店の定義は新規出店もしくは新規連結(グループ加入)から丸12ヶ月以上経過した店舗であり、前年同月と売場が同区画(同面積)で変動がないものとしており、対象店舗数も毎月変動いたします。

このため、改装等に伴って移設される場合や1日以上休業する場合、既存店から除外しております(ただし、緊急事態宣言に伴う臨時休業店や営業時短店は既存店の対象としております)。なお、既存店にはEコマースの売上を含んでおりません。

※4 Eコマースの売上には、当社グループのブランド各社が自社サイト及び他社サイトで計上した売上を集計しております。

※5 2021年9月の店舗売上前年比が72.8%から72.7%へ、Eコマース売上前年比が96.4%から96.1%へ、国内小売売上前年比が76.6%から76.5%へ、既存店対象店舗数が1,613から1,592に修正されました。下線部をご確認ください。

## 【当月の概況】

休日数(前年差)

当月

+1

前年同月

△1

・当月は、国内小売売上が前年同月比85.1%となり、内訳は店舗売上が同84.3%、Eコマース売上が同89.4%でした。既存店売上は前年同月比98.9%となり、休日数の前年差が1日増で既存店売上を+2.3%ほど押し上げました。  
 また、コロナ感染影響がない前々年との比較では86.2%(休日数の増減はなし)となり、前々年10/1の消費税引き上げに伴う駆け込み需要の反動減は△4.7%と推定しております。  
 ・当月は、緊急事態宣言の全面解除で店頭へ客数が戻り、9月最終週からの底堅い売上トレンドを継続した順調な出足でした。月半ばは気温の高さもあって伸び悩みましたが、月後半の全国的な気温低下で既存店売上が一気に伸張しました。  
 ・一枚で着れる薄手ニットだけでなく、カシミアニットや防寒グッズが活発化し、お出掛け用のアウターにも徐々に動きが広がりました。このため、アパレルブランドの売上回復トレンドが販売チャネルを問わず顕著となりました。  
 ・特に、百貨店販路が力強く回復しました。「ドレステリア」や「ラグタグ」といった高感度ゾーンの好調継続に加え、百貨店レディースの「アンタイトル」「インディヴィ」「クードチャンス」がプロパー主体で揃って昨対2桁増と牽引役でした。  
 ・EC販路においては、引き続きプロパー販売を主体にした採算重視の商売に徹してありますが、店頭への顧客の戻りと反する形でEC売上を伸ばし切れず、終息ブランドの影響(約12%ポイント)を除くと昨対100.9%と前年並みでした。  
 ・ただ、EC売上の前々年に対する伸び率は111.5%と引き続き増勢基調を維持しており、構造改革に伴う終息影響を除いた存続ブランドでは同129.4%と伸張していることから、成長販路の位置付けで巻き返し策を講じてまいります。

## 【参考: 前期実績】

2021年3月期 (2020/4/1~2021/3/31)		上期							下期			通期				
		4月 Apr.	5月 May	6月 Jun.	7月 Jul.	8月 Aug.	9月 Sep.	10月 Oct.	11月 Nov.	12月 Dec.	1月 Jan.	2月 Feb.	3月 Mar.	2H	Full Term	
売上前年比		伸び率(%)														
国内小売売上		25.4	38.5	91.7	79.6	80.7	74.0	64.4	89.6	76.0	79.1	66.8	84.9	113.0	82.9	73.7
店舗売上		15.2	27.9	84.9	72.9	72.6	68.8	56.3	85.2	71.6	73.5	60.6	78.6	112.3	77.9	67.0
既存店売上		15.5	28.2	85.9	73.9	73.1	69.1	56.8	85.6	72.2	73.8	60.2	81.8	119.1	79.1	68.1
Eコマース売上		122.6	139.2	155.9	136.9	154.8	121.4	139.3	126.2	113.0	124.6	111.5	117.0	116.3	117.8	127.2
店舗数		店														
月末(期末)小売店舗数		2,473	2,470	2,466	2,460	2,429	2,428	—	2,436	2,443	2,444	2,210	2,147	2,155	—	—
出店		19	3	2	3	2	16	45	12	12	3	3	33	44	107	152
退店		8	6	6	9	33	17	79	4	5	2	237	96	36	380	459
M&A		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
既存店対象店舗数		2,169	2,227	2,257	2,246	2,212	2,196	—	2,234	2,259	2,236	2,041	1,923	1,936	—	—